

トレンドを斬る!

コロナ禍で気軽に旅行することがままならない昨今、旅を疑似体験できるオンラインツアーに人気が集中しています。現地の

ガイドがZoomなどのアプリを使用して日本各地や海外の秘境・世界遺産を案内するツアーは、リアルタイムで映像を見ながら画面を通して質問したり、参加者同士で会話を楽しめるなど予想以上の臨場感です。伝統文化や歴史を学ぶ講座型のツアーも、より深い理解が得られると好評です。苦境を逆手に取った新しいエンターテインメントの登場です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【「自分は大丈夫!」と思える強さ】

小柄だと不利なことが多いスポーツ界において、大柄な選手に勝る活躍をしている人を「小さな巨人」といったりします。町工場を営むT社長は今年、何度も「小さな巨人」という言葉を思い出しているそうです。



それは、30代後半で自分の工場を始めたとき、心の師と仰いでいる人から送られたエールでした。世の中の景気の低迷で仕事のままならない今の時期に、恩師の言葉を思い出して「小さな巨人を目指してもうひと踏ん張り!」と自分を鼓舞しているそうです。普段はまったく思い出すこともないのに、ふとした瞬間に浮かんでくるうれしい記憶があります。例えば幼い頃、近所のおばあちゃんに「あんたはいい子だねえ」と頭をなでてもらったこと。算数のテストが12点だったとき「名前が上手に書けたから」とナイショで3点をおまけしてくれた担任の先生。退職するとき、それほど親しくなかった人から「あなたの明るさにいつも励まされていました」とお礼を言われたこと。その多くはたいがい小さな出来事であり、とても個人的なものです。記憶の断片が花びらのように舞い降りてくると、そのとき感じたうれしさが鮮やかによみがえって来たりします。おばあちゃんの手感触。担任の先生の温かいまなざし。実は自分をちゃんと見てくれていた人。もう何十年も前のことなのに、思い出すと今でも心強い気持ちになる。そんな記憶が人を支えているのではないかと思います。色々な人たちが自分を気にかけてくれていて、自分は大切にされていたんだなあと気付くとき、人は感謝と共にやさしい気持ちになるものです。

「商売が思うようにいかないこともあるけれど、そんなときこそ大切にしてもらった記憶が「自分は大丈夫!」という強さになる」とT社長は言います。それは根拠のない「大丈夫」かもしれないし、実のところ目の前の状況は大丈夫ではないときもあるけれど、日々淡々と「自分は大丈夫!」と感じながら生きていくことが商売の希望をつなげていくのではないのでしょうか。



トナリの

本棚



【大人の週末起業】

『週末起業』の著者が、人生100年時代に定年を迎える大人に向けて書いた本です。具体的な手順やツール、事例などが豊富に紹介されているため「私ならどうする?」を考えながら読めます。一歩動き出そうと考えている人におすすめの一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎